

## LIVOS テクニカルデータシート

アルドボス 浸透性木部用オイル No.266 F☆☆☆☆

屋内木部用 クリア仕上げ ツヤなし

- 適用範囲 屋内の木部および OSB 用。複合ボード、ベニヤ、キャビネット内部には適しません。
- 製品特性 透明で通気性があり、自然の木目を引き立てる仕上がりです。2~3 回塗ると軽く表面をコーティングします。  
汗・唾液に対する色彩堅牢性についてのドイツ工業規格 (DIN 53 160) に適合。  
幼児用木材玩具としての安全規格 (DIN EN 71 Part3) に適合。
- 全成分 アマニオイル、アマニウッドスタンドオイル、アマニスタンドオイル天然樹脂エステル、アマニスタンドオイル、天然樹脂エステル、オレンジオイル、イソアリファーテ、マイクロワックス、珪酸、無鉛乾燥剤
- カラー ライトハニー
- 希釈 うすめ液スバロス (No.222) を使用する。
- 施工法 ウエス (布)、刷毛、スポンジ、工業塗装 (気温 12℃以上であること)
- 塗布面積 1 回目…約 18 m<sup>2</sup>/L (無希釈)  
2 回目…約 30 m<sup>2</sup>/L (無希釈)  
3 回目…約 40 m<sup>2</sup>/L (無希釈)
- 乾燥時間 気温 23℃ 湿度 50%において  
1 回目…12 時間  
2 回目以降…24 時間
- 洗浄 使用後直ちにスバロス (No.222) で洗浄します。
- 比重 約 0.85g/ml
- 安全上の注意 火気のあるところでの塗装はおやめ下さい。(消防法 : 危険物第 4 類 第 2 石油類)  
使用時は喫煙を避け、換気してください。  
塗料を浸したウエスやスポンジは、製品中に含まれる亜麻仁油のために自然発火する危険があるので、金属性の密閉容器に入れるか、水に浸した状態で保管する。(亜麻仁油を含んだウエス等が光や酸素を急激に吸収して酸化作用が促進され、発火する危険がある。製品自体が自然発火することはない。)
- 安全上のアドバイス S2 子供の手の届かない所に保管してください。  
S62 飲み込んだ場合、無理に吐かず、直ちに医師の診察を受けてください。  
その際には本説明書又は容器ラベルを持参してください。
- 廃棄 地域の規制に従ってください。
- 容量 0.05L/0.75L/2.5L/10.0L
- 保管 乾燥した冷暗所に保管してください。未開封の状態で 4 年間まで保存可能 (ラベルを見て期限を確かめる)。  
使い残した分は小さな容器に移し替えて酸素に触れないように保管してください。

## LIVOS 使用説明書

アルドボス No.266

- 木材の素地調整 木材は乾燥させ吸い込みがよく、ヤニや埃がない状態にし、#180～#240以上のサンドペーパーをかけて細かく研磨してください。タンニン酸を含む木材は試し塗りしてください。接着剤は完全に乾燥させておき、塗装前にヤニ・樹脂等は、スパロス (No.222) で拭き取ってください。
- 施工法 清潔な布や刷毛で木部に薄く塗装し、約10～20分後、吸収されなかった余分なオイルを、毛羽立ちのない布で拭き取って下さい。(仕上げが不均一になったり、表面に斑点ができるのを防止するため)。塗装するごとに12～24時間乾燥時間をおき、必要であれば研磨してください。  
アルドボス塗装後、塗面を保護するにはグレイボ (No.315) が適しています。  
※水廻りやカウンタートップにはビボス (No.375) を使用してください。
- コルクの塗装 コルク酸や結合剤のため乾燥に時間がかかることがあり、匂いの問題が生じる可能性があるため必ず試し塗りしてください。吸い込みの程度に応じて2～3回塗装し、十分に浸透するまで吸収させてください。
- 古い塗装面の再生 古いペンキ類・ラッカー・ニス・ワックスなどは、研磨もしくは剥離処理して旧塗膜をきれいに取り去ってください。油性でないペンキ類は古い塗膜を清潔にして必要であれば研磨し、試し塗りをして表面の吸収性を確認しておいてください。
- 注意事項 1.使用前に良くかき混ぜ、必ず試し塗りをしてください。  
2.作業中・乾燥期間中は、喚起に十分気をつけてください。酸素と光が不足すると、亜麻仁油を含む塗料は乾燥に時間がかかり、亜麻仁油の匂いが長く残ることがあります。  
キャビネットなどの塗装には、グレイボ (No.315) が適しています。  
3.オークやタンニン酸を含んだ木材、また研磨・剥離・前処理・着色などを施した木材では1週間以内に変色する可能性があります。  
4.接着剤によっては施工後に溶けるものもあるので、木口をニカワ付けした木材や木質合板類は、試し塗りした後、2日間経過観察してください。  
5.塗装面をあらかじめ細かいサンドペーパーで丁寧に研磨しておけば、塗布量を減らすことができ、塗装面のキズやシミをつきにくくすることができます。